

松本陸樹教授 略歴・著作目録

略 歴

- 1954年 1月 福岡県に生まれる
- 1986年 3月 同志社大学大学院経済学研究科博士課程満期退学
- 1992年 5月 長崎大学経済学部講師
- 1996年 4月 同助教授
- 2000年 5月 同教授
- 2019年 3月 長崎大学定年退職
- 2019年 4月 長崎大学名誉教授

著 作 目 録

I 著 書

(1) 単著

- ① 『イギリスのインド統治：イギリス東インド会社と「国富流出」』阿吽社，1996年4月
- ② 『インド植民地政府による本国への送金：東インド会社統治の終焉と送金の推移，1858-1788年』長崎大学東南アジア研究叢書，第34号，2003年3月
- ③ 『インド省手形の起源と歴史：東インド会社手形から逆インド省手形まで』長崎大学東南アジア研究叢書，第48号，2019年3月

(2) 共著（分担執筆）

- ④（小玉新次郎・大澤陽典編）『アジア諸民族の生活文化』阿吽社，1990年2月
- ⑤（浅羽良昌編）『国際経済史：欧米とアジア』ミネルヴァ書房，1996年4月
- ⑥（入江節次郎編）『世界経済史：世界資本主義とパクス・ブリタニカ』ミネルヴァ書房，1997年5月

II 研究論文など

- ① 「広東貿易と決済問題 1775-1837」『経済学論叢』第29巻第1・2号, 1980年12月
- ② 「初期広東商社に関する研究動向: チョン教授による研究を中心にして」『近代中国』第11巻, 1982年9月
- ③ 「ベンガルにおける Agency Houses の形成: イギリス系私的資本の形成過程と東インド会社, 1757-1800年」『経済学論叢』第32巻第3・4号, 1983年9月
- ④ 「イギリス東インド会社による本国への送金, 1814-1833年: 「本国費」などの支払いと送金問題」『社会経済史学』第51巻第5号, 1986年6月
- ⑤ 「The Remittance of India's "Home Charges" and Others to England by the English East India Company, 1814-1833」『龍谷大学経済経営論集』第28巻第1号, 1988年6月
- ⑥ 「イギリス東インド会社による本国への送金, 1834-1857年: 貿易活動の停止後における送金の規模と方法」『経済学論叢』第43巻第2号, 1991年12月
- ⑦ 「武藤長蔵と『広東十三行』: 武藤文庫所蔵「広東十三行図」によせて」『経営と経済』第72巻第2号, 1992年9月
- ⑧ 「イギリス東インド会社と『国富流出』」『経営と経済』第74巻第4号, 1995年3月
- ⑨ 「イギリス東インド会社と19世紀イギリス議会資料: 京セラ文庫「英国議会資料」の創設によせて」『東南アジア研究年報』第40集, 1998年3月
- ⑩ (大石恵氏との共著) 「旧制長崎高等商業学校における教育と成果: 明治・大正期を中心として」『経営と経済』第85巻第3・4号, 2006年2月

III 書評

- ① 「W. E. Cheong, *Mandarins and Merchants: Jardine Matheson & Co., a China Agency of the Early Nineteenth Century*, 1979」『経済学論叢』第29巻第3・4号, 1981年3月
- ② 「小谷汪之著『インドの中世社会: 村・カースト・領主』」『経済学論叢』第41巻第1号, 1989年9月

IV 資料紹介（いずれも江頭紀代美氏との共著）

- ①「長崎大学東南アジア研究所蔵旧植民地関係機関等刊行物について（1）：台湾編」『経営と経済』第73巻第2号，1993年9月
- ②「長崎大学東南アジア研究所蔵旧植民地関係機関等刊行物について（2）：朝鮮編」『経営と経済』第73巻第4号，1994年3月
- ③「長崎大学東南アジア研究所蔵旧植民地関係機関等刊行物について（3）：満州国・関東州編（上）」『経営と経済』第74巻第3号，1994年12月
- ④「長崎大学東南アジア研究所蔵旧植民地関係機関等刊行物について（4）：満州国・関東州編（下）」『経営と経済』第74巻第4号，1995年3月

